

貸借対照表

(令和 3年 3月31日現在)

株式会社UACJ物流

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,325,231	流動負債	2,471,938
現金・預金	1,456,335	支払手形	522,968
受取手形	75,216	買掛金	1,755,889
売掛金	1,701,552	未払費用	72,131
商品	78,670	未払法人税等	75,047
前渡金	7,399	親会社未払金	—
預け金	—	賞与引当金	875
その他	7,858	リース負債	—
貸倒引当金	△ 1,800	その他	45,028
固定資産	691,361	固定負債	113,656
有形固定資産	603,755	退職給付引当金	113,656
建物	110,724	リース負債	—
構築物	11,451	負債計	2,585,594
機械	10,244		
車輛運搬具	433,022	純資産の部	
工具器具備品	18,421	資本金	200,000
建設仮勘定	19,894	資本剰余金	71,038
リース資産	—	資本準備金	61,038
無形固定資産	20,249	その他資本剰余金	10,000
電話加入権	2,761	利益剰余金	1,159,959
ソフトウェア	17,488	利益準備金	2,500
投資その他の資産	67,357	繰越利益剰余金	1,157,459
長期貸付金	2,173	純資産計	1,430,997
長期前払費用	7,646		
繰延税金資産	33,669		
その他	23,868		
資産合計	4,016,591	負債及び純資産合計	4,016,591
		当期純利益金額	435,408

(記載金額は千円未満を四捨五入で表示しております。)

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品……………月別総平均法による原価法

貯蔵品……………最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

車両運搬具……………定額法を採用しております。

その他の有形固定資産……………定率法を採用しております。

但し、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（附属設備を除く）、並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

② 無形固定資産……………定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアの耐用年数は 5 年としております。

③ リース資産……………所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産についてはリース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。なお、このうち重要性に乏しいリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

預託金方式のゴルフ会員権につき、市場評価額に基づき回収可能性を勘案し債権の評価勘定として設定しております。

② 賞与引当金

出向役員の賞与負担に備えるため、負担見込額の当期負担分を計上しております。

③ 退職給付引当金

当社は、確定給付企業年金制度及び退職一時金制度を設けております。これらの制度による従業員の退職給付に備えるため当事業年度末における退職給付債務及び年金資産額の見込額に基づき引当金を計上しております。退職給付債務の算定方法は簡便法により算出しております。また、役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 長期前払費用

繰延資産および少額減価償却資産で均等償却しております。

② 消費税等の会計処理の方法

税抜方式によっております。

なお、リース取引の一部は分割控除をしております。